

開催日時	令和3年7月9日(金) 19時30分～22時30分
開催場所	リモート開催
出席者	藤井、安尾、大長、帯刀、中村、畑井、相澤、長濱、井上(空野)、前川理事
欠席者	安部、日高
記録者	帯刀
議題 および 決定事項	<p>1. 各事業について</p> <p>(1) コミュニケーション研修(畑井)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在12名/30名(7月9日現在) 情報を流した時に反応として応募が増えるような印象 今後士会便り、メール等で再度リマインドしていく予定。</li> <li>・部員はファシリテーターとして参加(参加者ではない)</li> <li>・グループワーク①、②ともに、事前収録したデモ動画を流す。 ⇒動画の再度収録しなおし。グループワーク①に関してもデモ動画を作成。</li> <li>・グループワーク②の中で語り手・聞き手・観察者の役割を司会から説明する。</li> <li>・時間ぎりぎり設定しているタイムテーブルなので、動かせる時間をとっておく必要あり。 ⇒現状はグループ4人でのスケジュールリングだが、3人+部員と予測されるため変更必要。</li> <li>・来月の部会ではスケジュール・部員役割の最終確認</li> </ul> <p>(2) 地域ケア会議推進リーダー養成研修(大長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルの必要性 ⇒8月部会にてリハーサルを行う。 ⇒それまでに担当者はタイムスケジュールを組む</li> <li>・グループワークについてのタイムスケジュールも設定。</li> <li>・グループワークの進行を藤井部長が行ってきた分を部員で担当する。 ⇒当日出てくる質問に対しての取りまとめを行うのはとても大変。 ⇒進行・ファシリテーターの部員は各班で出た意見・質問をとりまとめ、全体に投げる役割を負ってはどうか?</li> </ul> <p>(3) 姿勢と動作実技研修(中村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を用いた説明にどのような要素を持たせるか?</li> <li>・視覚的に重みの移り変わり、重心の軌跡が見やすいように、相毎に重みの移り変わりや重心の軌跡を説明するような動画</li> <li>・寝返りに対しての水平面の動きがわかりやすい</li> <li>・伝えたい場所を強弱をつけていく必要はあるか。</li> <li>・異常動作⇒(耐圧分散センサー⇒)なぜそうなるのか?⇒じゃあどうすればよいのか?</li> <li>・何を排除するのか?⇒絞り込む作業を来月部会で。</li> </ul> <p>(4) 福祉用具研修(大長)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 到達目標の決定 理学療法士が臥位姿勢・移動、車いす坐位姿勢に関する福祉用具の『種類と特徴』『選定の考え方』『効果的な使用方法』を学ぶことができる。</li> <li>② 研修内容の検討⇒来月案内文○</li> <li>③ 内容：姿勢管理・動作についての検討○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日目：ベッド上の姿勢と動作に関する福祉用具</li> <li>・2日目：車いすの姿勢に関する福祉用具 (内容に関しては講師と打ち合わせを重ねる)</li> <li>・研修を依頼する側として、参加者に対して何を得てほしいか?を設定する必要。</li> <li>・本人の感覚で使う体験・提供する側として使う体験</li> <li>・研修のスタイルとしてオンライン、対面実習で感じてもらうところが変わる。</li> <li>・要素と用具を関連付けて考えていく</li> </ul> </li> </ol>